

必ずお守りください

この製品は、飲料物を入れての保温や保冷を目的としたものです。飲料物の保温・保冷以外にご使用にならないでください。ご使用になるときは、やけどや飲料物の変質・変色・製品の故障や汚れを防ぐために次のことは、必ずお守りください。

- 手や顔を近付けた状態で飲料物を注がないでください。内圧で飲料物や蓋に付着した水滴が勢よくとび出てくる場合があります。(特に熱湯を注ぐ場合、火傷の原因になりますので十分ご注意ください。)
- 注ぎ終わったら必ず、蓋の内側に残った水滴をしっかりと振り切ってください。(蓋に水滴が残った状態で傾けますと、後から出てくる場合がございます。必ず実施してください。)
- 乳幼児の手の届くところには置かないでください。火傷の原因になります。

次のものは絶対に入れないでください。

- ドライアイス・炭酸飲料
内圧が上がり蓋が吹き飛んだり、蓋が開かなかったり、飲料物が吹き出るなどの恐れがあります。
- 牛乳・果汁
成分が腐敗する恐れがあります。
- 果汁・お茶の葉など
漏れる・詰まるなどの故障の原因になります。

ストーブやコンロなど火のそばに近付けないでください。
変形、変色の原因になります。

車などにのせての移動はしないでください。
やけどの恐れや他のものを汚す原因になります。

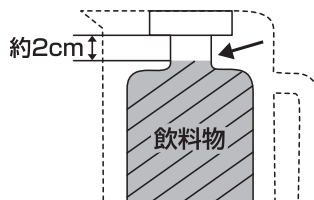
飲料物を入れたときは横転させない、または横置きにしないでください。
やけどの恐れや飲料物が漏れる原因になります。

氷を入れた場合はポットを強くゆすらないでください。
本体が破損する恐れがあります。

乳幼児の手の届くところへは置かない、またはいたずらには十分に注意してください。
やけどなどの恐れがあります。

飲料物は蓋の下端より少なめにに入れてください。
入れ過ぎるとプッシュボタンがかたくなったり、蓋を閉めたときに飲み物があふれて、やけどの恐れがあります。

分解修理はしないでください。
故障や事故の原因になります。



直射日光のあたる場所で使用しないでください。
変形・変色の原因になります。

蓋は確実に閉めてください。
飲み物が漏れる恐れがあります。

蓋は煮沸しないでください。
変形し、漏れなどの故障の原因になります。

持ち運びの際には、傾けたり横抱きしたりせず、必ずハンドルを持ってください。
やけどや汚れなどの原因になります。(注ぐときはもう片方の手で底を支えてください。)

冷水を入れて使用した直後に熱湯を入れないでください。
またはその逆も避けてください。内部が破損する恐れがあります。

落としたり、ぶつけたり、製品に強い衝撃を与えないでください。
内部が破損する恐れがあります。

氷を入れる場合は先に飲料物を入れてから、ポットを少し傾け、氷をすべらせるように静かに入れてください。
また大きな氷は、押し込まず小さくして入れてください。
内部が破損する恐れがあります。

ご注意とお願い

シンナー・ベンジン・金属たわし・研磨剤入りたわし・みがき粉・クレンザー・塩素系漂白剤などは使用しないでください。
傷、さび、故障の原因になります。

熱いお茶を長時間入れて保温した場合、お茶の色が変わることがあります。

注ぐ際、熱いやかんなどが本体に当たらないようにしてください。
転倒してやけどの恐れがあります。また、傷・変形の原因になります。

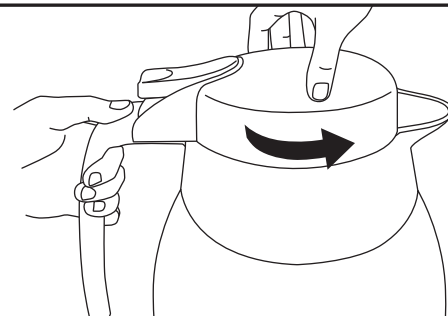
熱い飲料物を保温しているとき、内圧の上昇により蓋から蒸気がわずかに漏れ、音が鳴ることがあります。音が鳴り止まないときは、蓋をゆるめると音が止まります。

使い方

ご使用前に内部をぬるま湯で十分に洗ってください。

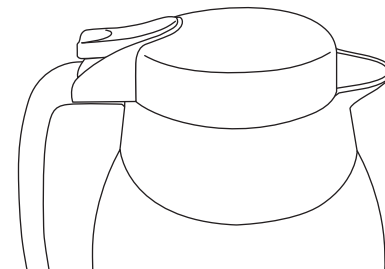
1.蓋をはずす

ハンドルに手を添え、蓋を左まわしにはずします。



2.飲料物を入れ、蓋を閉める

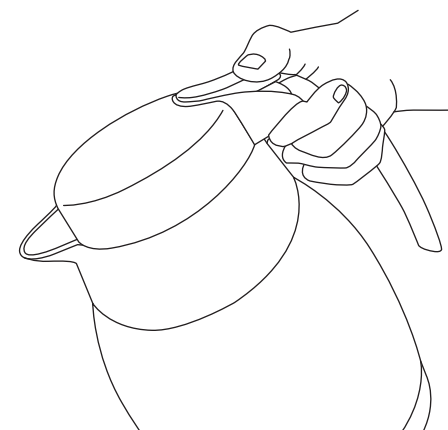
- 蓋は確実に閉めてください。



3.飲料物を注ぐ

プッシュボタンを押しながら注いでください。

注ぐときはもう片方の手で底を支えてください。



※直接飲料物を飲まないでください。